



2017年3月13日

## プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団**として**社会への情報提供**を行うため、主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、「**2017年春の年会**」開催のお知らせです。

## 日本原子力学会「2017年春の年会」開催

### 主な無料公開セッションのお知らせ

**3月27日～29日 東海大学湘南キャンパス**

期日： 2017年3月27日（月）～29日（水）

場所： 東海大学 湘南キャンパス (<http://www.u-tokai.ac.jp/about/campus/shonan/>)

主催： 一般社団法人日本原子力学会 (<http://www.aesj.net/>)

#### 特別講演

3月27日（月） 10:00～11:00 L会場

「東海大学ソーラーカーの開発と活動」 座長：大江 俊昭（東海大）

- ・東海大学ソーラーカーの開発と活動 木村 英樹（東海大）

#### 部会・連絡会セッション

3月29日（水） 13:00～14:30 F会場【シニアネットワーク】

「対話 10年の報告と新しい方式について」 座長：松永 一郎（SNW）

- ・学生とシニアの対話10年を振り返って 松永 一郎（SNW）
- ・世代を跨いだ発展型対話会のあり方 大野 崇（SNW）
- ・原子力を専攻しない学生が原子力をめぐる世代間対話に魅力を感じてもらうためにいかにすべきか 矢野 亮太（学生連絡会）
- ・今後の進め方に関するフロア参加者との意見交換

3月29日（水） 13:00～14:30 G会場【原子力発電部会】

「原子力発電所の安全性強化に向けた新たな規制の取組みについて」 座長：可児 吉男（東海大）

- ・原子力規制に係る検査制度の見直しについて 金子 修一（規制委員会）
- ・検査制度見直しに係る事業者の対応について 尾野 昌之（電事連）
- ・再稼働後の原子炉監視プロセス導入とシビアアクシデント機器の保全活動について 奈良林 直（北大）

#### 委員会セッション

3月27日（月） 13:00～14:30 D会場【倫理委員会】

「原子力は未来技術たり得るか」の検討 座長：大場 恭子（JAEA）

- ・社会から需要される原子力に向けて 芹澤 昭示（JSPS、京大名誉）、齊藤 泰司（京大名誉、京大）

3月27日（月） 13:00～14:30 F会場【男女共同参画委員会】

「多世代ロールモデルで描くキャリアプラン」 座長：小林 容子（規制庁）

- ・原子力専攻へ進んだきっかけ、今の研究から得たこと 田治見 祐里（東京都市大）
- ・私の原子力との関わり 学生時代から現在まで 筒井 奈緒（JAEA）
- ・原子力産業でのキャリア形成 女性エンジニアの10年目の働き方 渡邊 和（東芝）
- ・めぐり逢う天職、つかみ取る適職 職業との関わり方、選択肢のひとつとして 小川 順子（双映）

本件に関する取材等お問合せ先（9:30～17:00 土日・祝日除く）

日本原子力学会事務局 TEL：03-3508-1261/E-mail：meeting@aesj.or.jp



3月28日(火) 13:00~14:30 H会場【広報情報委員会 オープンスクール小委員会】

「パネル討論：四半世紀を迎える原子力オープンスクール」 座長：星出 明彦（東芝）

- ・近年の原子力オープンスクールの開催状況 井頭 政之（東工大）
- ・放射線教育フォーラムと中学放射線教育との関わり 宮川 俊晴（元日本原燃）
- ・日本科学技術振興財団（JSF）におけるエネルギー・放射線教育への支援の状況 掛布 智久（JSF）
- ・関西地区における活動の変遷と今後の課題 泉 佳伸（福井大）

※その他のセッションについては、当学会「2017春の年会」HPをご覧ください。

[http://www.aesj.net/activity/annual-meeting/next\\_meeting](http://www.aesj.net/activity/annual-meeting/next_meeting)

#### 年会を取材される報道機関の皆様へ

本年会の取材をご希望の際は、以下の手順でお手続きをお願いいたします。

1. 年会総受付(16号館3階)へお越しいただき、受付担当者へ名刺をお渡しください。
2. 「取材申込用紙」に氏名・社名、取材を希望されるすべてのセッション名（または会場名）をご記入ください。
3. 「報道関係者」の名札をお渡ししますので、名札を必ず付けて、取材希望セッション会場へお入りください。
4. 会場へ入室されましたら、取材開始前に、当該セッションの座長等、関係者に必ず取材の許可を得てください。  
同会場で複数のセッションを取材する場合、その都度許可を得るようにしてください。  
セッション全体ではなく、個別の講演・発表として取材される際は、必ず各講師・登壇者および座長に取材の許可を得てください。  
また、会場内では、参加者のプライバシーへのご配慮をお願いいたします。
5. 取材が終了されましたら、総受付へ名札を返却してください。

ご協力をよろしくお願いいたします。